

図書館だより



休館日…毎週月曜日・6月3日(木)

◆課題図書をご利用ください

第56回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書は、八日市場図書館・のさか図書館でそれぞれ各1冊ずつ所蔵しています。

○小学校低学年の部

『ミリーのすてきなぼうし』『とっておきの詩』『むねとんとん』『いじわるなないしょオバケ』

○小学校中学年の部

『こぶとりたろう』『点子ちゃん』『ともだちのしるしだよ』『やんちゃ子グマがやってきた』

○小学校高学年の部

『すみ鬼にげた』『建具職人の千太郎』『リキシャ★ガール』『海は生きている』

※中学校・高等学校の部もあります。

夏休み期間中の利用は限られるため、早めのご利用をおすすめします。

詳しくは、館内の掲示や職員にお尋ねください。

◆6月の通常の「おはなし会」開催日 (八日市場図書館)

毎週土曜日15時から約30分間

アドレス<http://www.library.sosa.chiba.jp>

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

市政の窓

No.3



観測史上最も遅い降雪など冷えと雨の多かった4月。今度は、二十数年振りとなるゴールデンウィークの全日快晴。鯉の泳ぎも豪快に、山と田んぼの織り成す緑一色の好季節。私も木積の「おせん様のふじ祭り」、安久山の「ガーデンオーブンチャリティー」、「匠瑳市植木まつり」等巡って参りました。

好季節

4・5月は総会シーズンです。1日に3から4か所出席する日もあり、慌ただしい時期の中で25年振りに東部五市体育大会(於銚子)に出席し、各会場に赴き本市代表選手(370人)の激励をして回りました。

人層が参加できる種目が目につきました。近代スポーツは幅広い方々に多数参加して頂き、心地よい汗の中に健康増進と交流を図ってゆくものだと感じさせられました。

私事ですが、25年前の本大会で靱帯を痛め数か月ギプスを付けた苦い経験があります。試合に参加するときは十分な練習を積み、直前には準備運動を怠ることなく万全の体勢で臨んで頂きたいと思います。屋外で体を動かし運動するには絶好の季節です。

匠瑳市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

土屋 耕一 推薦

落日の光ひと時止めつつ楚々とし咲けるやぶ椿の花

高 石井 房代

余寒きびし南天のものと日溜りに震えつつ咲く黄のクロッカス

上谷中 加藤 八枝

畔焼きの黒き下より草萌えてなにやら吾に気力みなぎる

平木 大木ヨシ子

外泊の友が手折りし山桜視えぬ私の和みにと賜ふ

山桑 佐藤 泰子

普段はやんちゃな男の子が弾けるピアノ発表会胸熱くなり拍手惜しまず

八日市場イ 木島 仁美

娘は嫁に出すものとして羨らる父の厳しさ温もり偲ばる

若潮町 伊藤登美枝

子の出世喜び合えるは夫とだけ他人様には話さずにおく

生尾 中島 静代

退職し慣れぬ仕事に新たななる努力強いらる夫送り出す

西小笹 伊藤 英子

川口 城司 推薦

蝶のごと白山吹の咲き出でし枝に残れり黒き実ふたつ

今泉 熱田千代子

道の端に柔らに伸びし餅草は摘む人のなくみどり増したり

野手 伊橋 良子

待ちわびし春のことぶれ野の花もあちらこちらに芽吹き始めたり

新堀 押本富美子

春休みの孫ら帰れば淋しさの募れど暮らしは平素に戻る

野手 石田 秀子

俳句

西野 棠雨 推薦

筍の白き切口匂ひけり

八日市場イ 菅谷たけし

水の守り神

水神社の額

匠探訪

— 49 —

全国の湖のなかで12番目の面積となる十和田湖（青森・秋田両県にまたがる）に次ぐ

大きかったとされる椿海（つばきのうみ・椿湖）が干拓されたのはおよそ340年前のことです。

干拓工事面積は、江戸時代前期としてわが国最大のもので、干拓が済んだ新田が売り出されてから20年、新田18か村が成立したのが1696年（元禄9年）でした。新田村には「3社5か寺」がまつられ、市域には春海村に修福寺（現在は廃寺）と水神社

がまつられました。

水神社の正面に掲げられたスギ材の額には、興味深い「比丘（びく）杉」のことが書かれています。

猿田神社のある椎柴村（銚子市猿田町）に周囲約8メートル、樹齢が千年を越えるという大木があつて、比丘杉と呼ばれていました。そのいわれは、「人魚の肉を食べた女が八百歳まで生きた」という全国各地に伝わる「八百比丘尼（やおびくに）」伝説と結びつき、この大杉が八百比丘尼の墓標であつたとされたことから比丘杉と呼ばれたと伝わっていました。

この比丘杉が1903年（明治36年）に伐採され、買い取つたのが春海村出身で当時東京で「春海屋」という材木商を営んでいた者で、その木の一部に由緒を書いた額が水神社

椿海地区春海にある水神社の額

に奉納されたものが残っています。この大杉を伐るきっかけは、明治の中ごろ流行していた赤痢やチフスの治療費を生み出すためだったとも伝わっています。

椿海にまつわる巨木伝説は、むかし、椿の大木が枯れその根の跡が湖となり、椿海と呼ばれるようになった、というのが広く知られています。

この伝説はおそらく1670年（寛文10年）から始まつた干拓工事が進む中で、椿という地名と合わせるかのようにできあがつた話のような気がします。

新田18か村の村名には「春海」、「万歳（まんざい）」、「万力」（ともに旭市）、「八重穂」（東庄町）などのようにめでたい名も付けられたことからも農民の願いが感じられます。

春海の水神社は、江戸時代には「水天宮（すいてんぐう）」と呼ばれ、農業には欠かせぬ水の守り神でした。境内には、1770年代以降に建てられた「大杉大明神」「金比羅大権現」「石尊大権現」「庚申塔」などの石神がまつられ、村びとの心のよりどころだったことが知られます。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746

檀林の鐘の音わたる水張田

弁柄の山門濡らす緑雨かな

店先の土鈴鳴らして春惜しむ

八十八夜纏うてみたき紺緋

檀林の野点にこぼる新樹光

卯波来る真砂女は遠くなりけり

卯波立つ沖ゆく船の潮路かな

川口 城司 推薦

栢田 伊藤 定子

堀川 高野 操

栢田 加瀬 潔子

高梨 果宝 推薦

蕪里 鶴澤 教子

八日市場ホ 鎌形ミツエ

八日市場イ 関川 幸子

八日市場イ 常世田やす子

八日市場ホ 菱木 静枝

平木 平山 右

八日市場イ 伊藤さとこ

八日市場イ 鈴木十世志

川口 城司 推薦

川辺 加瀬 きよ

健康は腹八分目と教えられ

あて先： 匠探訪編集部

〒289-2198

匠探訪市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114